

# 特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会 2023 年度事業報告 (2023 年 1 月 1 日~12 月 31 日)

私たちの生活に大きな不安と制約をもたらした新型コロナウイルスの感染症法上の扱いが引き 下げられたことを契機に人や街の様相はさらに一段階変化した。地域の祭事や大規模イベントも 再開し、マスクをしない外出が日常化し、徐々に対面での会議や催しも増加してきた。ボランティア活動の周辺を見ても、休止していた活動を再開したり、途切れていたつながりを紡ぎ直したり、あらためて活動者の受け入れを検討したりと、本格的に人々の気持ちも身体も動き始めた印象があった。

コロナ禍で獲得したオンラインツールは、私たち JVCA の事業展開を支える大きな力となり、この一年、さまざまな活動の場面で活用してきた。研修・講座の開催においてはオンライン開催が常態化し、今後も継続すべきとする確信を得た。一方、対面でのリアルな対話や交流が減少したことで、新たな出会いや奥深いコミュニケーションを期待する会員等のニーズには十分に応えきれておらず、目的や対象にかんがみた適切な集いの形を模索しながら進めた1年であった。

財政面では、当初から赤字予算を組まざるを得ない厳しい状況であったが、結果的にも赤字の幅はほとんど改善できず、その要因として助成金が獲得できなかったこととともに、会員の減少と会費納入率の低さが影響した。支援性財源の減少は運動性のある事業展開を弱めることにつながりかねず、財源確保と支援者拡大という両面からの対策に課題を残した。

以下、重点とした取り組みについて、その成果と課題を記す。 ※下線 は事業計画

# 重点 1 ボランティアコーディネーションの社会的認知を進めるための事業拡大(普及啓発、情報発信活動の強化を含む)

- ○全国の幅広い地域、分野での検定開催を一層進めるために、オンラインも活用しボランティア コーディネーション力検定3級の共催団体を確保する。
- →目標の6回を達成し、このほかに新たな試みとして1団体と研修のみを共催した。オンライン 活用については研修動画を事前にオンデマンド視聴し、試験のみ会場で受験する方式で実施し、 開催地の理事・運営委員の協力を得て主催検定の会場も拡大できた。
- ○ボランティアコーディネーション力検定を活用する組織を広げる。
- →社会福祉協議会や公共施設などにおいて担当職員の受験を研修の一環としたり、大学では受験を希望する学生に対して補助をしたりする動きがあった。公の施設等の指定管理者(企業)でボランティアに関連した業務を担う社員の3級受験を必須とするケースも見られ、検定を人材育成の一環として活用する組織が増加した。

- ○ボランティアおよびボランティアコーディネーションに関する正しい理解や知識を社会に広げ るため、動画やパンフレット等を活用した情報発信や提言等を行う。
- →動画作成チームにより、新任のボランティアコーディネーター向けにボランティアをわかりやすく理解してもらうための動画の作成が進められ、2024年度の早い時期に公開予定である。また、報道アクションチームによるマスコミ向けの冊子については 12 月の理事会で承認され、体裁や文体を遂行する段階となった。いずれも今期においては情報発信には至らなかったが、発信する手前の段階まで進捗した。
- ○ボランティアコーディネーション実践のグッドプラクティスを収集し、発信する。
- →1、2級検定合格者に呼びかけて「事例から深める!ボランティアコーディネーション研究会」 (発起人:岩井俊宗さん・小原宗一さん)を企画し、グッドプラクティスの発掘も視野に入れ たピアサポート型の取り組みが始まった。2023年度は第1弾を7・8月、第2弾を11・12月 に、それぞれ3回ずつ開催。第1弾は2日で定員を超える反響があり、ニーズの高さがうかが われた。グッドプラクティスの公募については WEB サイト上では常時行っているものの応募 はなく、主催講座や JVCC などの場で紹介された事例をボランティアコーディネーションの視点からグッドプラクティスとして再整理し、紹介していく方向も模索したい。

## 重点 2 ボランティアコーディネーション力を高めるための多様な研修機会の提供

- ○研修体系に基づき、実務者を対象とした研修を充実させ計画的に実施する。
- →計画通り3回の実務研修の開催し、定員を超える参加者を得られた。オンラインによる開催により遠方からの申込も多く、3回通しての参加も見られた。参加者層としては比較的実務経験の浅い方が目立ったが、あらためてボランティアを学ぶテーマにはかなりのベテランも参加され、学び直しと確認したいニーズがあることが実感できた。
- ○研修メニューをリニューアルし、オンラインも活用した多様な分野で活動するコーディネーターー向けの研修を充実させる。
- →タスクチームを結成して WEB サイトの研修メニューページの見直しを行い、6月下旬より新 しいページへ移行した。これまでの掲載例はボランティアコーディネーター対象の研修として 紹介してきたが、新しいページではここ数年の研修依頼内容から抽出したトレンドや、受講さ れる方の悩みや困りごとに沿った開催例を示し、幅広いコーディネーターに対応できる研修を 提案した。

#### 重点 3 多様な領域で活動するコーディネーターのネットワークの構築

- ○対面の機会とオンラインの活用により、コーディネーター・会員同士の交流を促進させる企画 を催す。
  - →運営委員会においては、この間、有志の呼びかけにより会場に集まっての開催はあるものの、 フォーマルには対面型の会議は開催してこなかった。今年度は理事・運営委員合同合宿をは じめ、年内に1回ずつ東京及び大阪に会場を設定し、3年半ぶりに対面を基本にした(オン ライン参加もあり)委員会を実施した。地域プロモーション委員会による CoCo サロン開催 の促進や支援も継続して行われた。また、WEB 委員会によるオンラインツールサロンが会員 を対象に開催され、小規模ながら会員の悩みに応えるテーマ型の企画が始まった。
- ○「市民の参加と協働を進めるコーディネーション研究集会(JVCC)」の今後の開催方法について検討する。
- →2021 及び 2022 (2月) は完全オンライン、2022 (12月) には対面、ハイブリッド、オンラインを組み合わせて開催した経験をふまえ、2024 では開催地域を東京に置き、基本的に対面方式に戻しつつ、オンラインのメリットも採り入れた開催形態にした。オンラインという選択があるなかで遠方からの出張が認められにくい事情もあると聞くが、オンラインになって決定的に弱まっている交流とつながりづくりの要素を取り戻す必要があり、2024 年 2 月の研究集会はその第一歩である。開催後にはその評価をっしっかりと行いたい。

#### 推進体制 組織・財政基盤強化のための組織のあり方検討

- ○第5期中期ビジョン策定検討チーム(仮称)を立ち上げ、JVCAの将来像を見据え、これからの事業及び組織・運営体制(財政、理事・運営委員の活動内容、事務局のあり方等)について検討する。
- →若手の理事・運営委員の手挙げ方式で第5期中期ビジョン策定タスクチームが結成され、コロナ禍を経た社会環境の変化および既存の社会調査等を分析して、次期ビジョンの重点になりそうなトピックやテーマを抽出した。
- ○エリアメイトに加え、会員の参加のバリエーションや機会を広げる。
- →地域プロモーション委員会がエリアメイトの募集を行い、希望者へのオリエンテーションを行った。一昨年末から始まった会員会談番組「旅する JVCA」は第6~8 弾が作成され、YouTube の公式ページから配信した。



# 1 事業の推進

#### (1) 多様なコーディネーション実践に携わる人たちを対象とする全国集会の開催

①「市民の参加と協働を進めるコーディネーション研究集会 2022」の評価 独立行政法人福祉医療機構からの助成金を得て、2022 年 12 月 17 日(土)~18 日(日) に開催した標記集会の成果を振り返った。

1月24日(火)には集会参加者にも呼び掛けて、「ステップアップ・ミーティング」と位置づけて振り返りの場を開催した。さらに最終実行委員会においては、初めてオンライン形式と対面形式を組み合わせたことによるメリット・デメリットなどを具体的に評価した。

#### <ミーティング・実行委員会開催状況>

	開催日	形態	人数
事務局ミーティング	1月20日(金)	オンライン	_
ステップアップ・ミーティング	1月24日 (火)	オンライン	33人
【参加者公開企画】			
第 12 回	2月2日(木)	オンライン	27人

②「市民の参加と協働を進めるコーディネーション研究集会 2024」の企画 前回と同様の名称で 2024 年 2 月 23 日(金・祝)-24 日(土)に開催することを決定した。 4 月の準備会において実行委員の人選を行い、新任者へのオリエンテーションを経て、6 月には 実行委員会を始動させた。第 1 回の実行委員会では鹿住貴之さん(JVCA 副代表理事/JUON (樹恩) NETWORK)を実行委員長に互選した。今後は月 1 回程度の委員会において集会のフレームや開催方法について協議し、11 月中旬までには全体のプログラムを固めた。

#### <実行委員会開催状況>

0	開催日	形態	人数
準備会	4月24日(月)	オンライン	_
オリエンテーション	5月27日(土)	オンライン	17人
第1回	6月17日(土)	飯田橋セントラルプラザ	28人
		&オンライン	
第2回	7月10日(月)	オンライン	29人
第3回	8月6日(日)	オンライン	27人
事務局チームミーティング①	8月16日(水)	オンライン	_
第4回	9月2日(土)	飯田橋セントラルプラザ	35人
		&オンライン	
第5回	10月 1日 (日)	オンライン	29人

第6回	10月29日(日)	オンライン	26人
事務局チームミーティング②	11月3日(金・祝)	オンライン	_
第7回	11月7日(火)	オンライン	35人
事務局チームミーティング③	11月15日(水)	オンライン	
第8回	11月20日 (月)	オンライン	38人
第9回	12月9日(日)	飯田橋セントラルプラザ	27人
		&オンライン	
事務局チームミーティング④	12月23日(土)	オンライン	

③「市民の参加と協働を進めるコーディネーション研究集会(仮)2025」の開催地検討2025年度の研究集会の開催地の検討するための会議を開催した。2020の東京開催以降、コロナによるオンライン中心に開催となり、2024は東京開催としたため、その次は関西での開催ができないかを検討するために関西の理事・運営委員等に呼びかけての話し合いの場を設けた。

開催日	形態	人数
8月28日 (月)	オンライン	9人

#### (2)研修の開催および研修企画の支援

- ①ボランティアコーディネーションカ1級検定直前研修の開催 計画1回(オンライン)
- ②ボランティアコーディネーションカ2級検定直前研修の開催 計画2回(東京・大阪)
- ③ボランティアコーディネーションカ3級検定直前研修の開催 計画2回+動画視聴
- ④ボランティアコーディネーションカ3級検定直前研修の共催 計画6回→※①~④は(3)で報告する
- ⑤各種研修セミナーの開催
  - ・実務研修「コーディネーションの知識とスキルを高める」の開催

(計画3回/ 実施3回: オンライン)

	研修名	開催日	講師	人数
第1回	いまさら聞けない、基本を学び直したい	10月 3日 (火)	筒井 のり子	17人
	コーディネーターへ〜"ボランティア"			
	この魅力的でややこしいもの~			
第2回	地域と大学生がともに輝くコーディネー	10月24日(火)	小原 宗一	20人
	ション〜意外に知らない いまどきの若		開澤 裕美	
	者事情~		齋藤 元気	

第3回	ボランティアプログラムの設計と発信の	11月 8日 (水)	小原 宗一	18人
	実務~あなたが届けたいボランティア活		大藤 毅	
	動ってなに?どう発信する?~			

・初任者向け:ボランティアコーディネーター基礎研修の開催

(計画2回:東京・大阪/実施2回:オンライン・大阪会場@エルおおさか)

No	研修名	開催日	講師	人数
1	新任ボランティアコーディネーター 基礎研修	8月29日(火)	唐木 理恵子 青山 織衣 後藤 麻理子	44人
2	共催:大阪ボランティア協会	9月23日(土・祝)	青山 織衣 新堀 春輔	23人

・初任者向け e 動画講義(富士通ラーニングメディアとの提携)の普及

出荷実績:ボランティアとコーディネートの理解 32 件

ボランティア受け入れのマネジメント 14件

講師

中央大学 開澤 裕美 人数

29人

⑥大学ボランティアセンター職員セミナー2023の開催

(計画 基礎1回:実践1回/実施 基礎1回:オンライン)

テーマ: 私たちは"ボランティア"をなぜ推すか、どう押すか? No 内容 開催日 9月7日(木) 基礎セミナー 赤澤 清孝 1 拠点紹介(動画) く実行委員名簿〉 ◎委員長

NO	氏名	所属
1	赤澤 清孝 ◎	大谷大学
2	秋田 有加里	愛知淑徳大学 コミュニティコラボレーションセンター
3	芦澤 弘子	聖学院大学 ボランティア活動支援センター
4	岡 秀和	関西学院大学 ボランティア活動支援センターヒューマン・サービス支援室
5	開澤 裕美	中央大学 ボランティアセンター
6	竹田 純子	龍谷大学 ボランティア・NPO 活動センター
7	山崎 智文	京都産業大学 ボランティアセンター

#### ・委員会開催実績

	開催日	形態
第1回	2月28日(火)	オンライン
第2回	4月 4日 (火)	オンライン
第3回	5月 9日(火)	オンライン
第4回	6月27日(火)	オンライン
第5回	8月22日(火)	オンライン
第6回	9月27日(水)	オンライン

#### ⑦オンライン対談シリーズの開催

・「ボランティアコーディネーター全員集合」(計画 2回 / 実施3回:オンライン)

	内容	開催日	話し手/聞き手	人数
第1回	シン・ボラセン〜いまこそ発信 したい「シン」の意味〜	1月11日(水)	熊谷 紀良 青山 織衣 國實 紗登美 MC 小柏 博英	19人
第2回	ボランティア活動を"その場限 り" にしないボランティアコー ディネーションとは?	2月16日(木)	川中 大輔 山﨑 智文 直井 友樹	19人
第3回	"本当の主役はいない"けれど、 「みんなが主役の共生のまちづ くり」とは!?	12月18日(月)	田村 幸大 MC 岡 秀和 MC 青山 織衣	22人

#### <ボランティアコーディネーター全員集合企画チーム>

(永井美佳、青山織衣、佐藤匠、國實紗登美、直井友樹、小柏博英、岡秀和)

・チームミーティング実績

回	開催日	形態
第1回	9月 7日 (木)	オンライン
第2回	10月11日 (水)	オンライン

#### ⑧研修への講師派遣と講座等の企画支援

・研修への講師派遣を希望する団体に対し、開催の目的やねらい、テーマ等を調整したうえで、JVCAの理事・運営委員等を派遣した。

派遣 65 件 研修日数 81 日 / 派遣講師 15 人 (実人数)

- ・講師派遣先を開拓するために講師派遣事業についての案内チラシを関係機関に送付した。(検定周知の際に同封)。
- ・WEB サイトの掲載情報「講師リスト」を更新するとともに、研修メニューリニューアルチームにより、「研修メニュー(開催例)」をボランティアコーディネーター対象研修にとどまらない、地域のボランティア活動活性化や多様なコーディネーションを普及するための研修項目にリニューアルし、6月から新バージョンで掲載した。ホームページを見て相談をしてくる団体も徐々にだが増えている。

<研修メニューリニューアルチーム> (青山織衣、疋田恵子、武藤祐子、後藤麻理子)

#### ・チームミーティング実績

	開催日	形態
第1回	3月 5日(日)	オンライン
第2回	4月 1日(土)	オンライン
第3回	5月23日 (火)	オンライン
第4回	6月19日(月)	オンライン

#### ⑨ボランティアコーディネーターに役立つ動画の企画と作成、配信

→動画作成チームにより、新任ボランティアコーディネーターを主たるターゲットに、 ボランティアについての理解を深める動画作成に着手し、音声収録までを終えた。

#### <動画作成チーム>

(長谷部治、國實紗登美、佐藤匠、宮城智広、三田響子、小谷広幸、牧野大樹)

#### ・チームミーティング実績

	開催日	形態
第1回	4月12日(水)	オンライン
第2回	4月25日(火)	オンライン
第3回	5月10日(水)	オンライン
第4回	5月26日(金)	オンライン
第5回	6月 6日 (火)	オンライン
第6回	6月12日(月)	オンライン
第7回	6月30日(金)	オンライン
第8回	9月13日 (水)	オンライン

#### (3) ボランティアコーディネーション力検定の実施

①ボランティアコーディネーション力1級検定試験の実施(計画1回/実施1回) 第1回(通算第11回)ボランティアコーディネーション力1級検定の直前研修および試

験を事前動画視聴とオンラインを組み合わせて実施した。

開催地・会場	開催日	講師・メンター、試験監督	受験者
直前研修:講義	7月31日(月)~	筒井のり子、早瀬 昇	13人
(動画視聴)	※オンデマンド		
直前研修:演習	8月26日(土)	小原 宗一、岩井 俊宗、疋田 恵子、	13人
(オンライン)	8月27日(日)	上田 英司、竹田 純子	/修了
			11人
検定試験/評価	9月10日(日)	岩井 俊宗、小原 宗一、疋田 恵子、	11人
(オンライン・		永井 美佳、垂井 加寿恵、竹田 純子、	
WEB フォーム)		上田 英司、後藤 麻理子	

<第1回(通算第11回) 1級検定 試験結果>

受験者数	11人	合格者数	5人	合格率	45.5%
------	-----	------	----	-----	-------

#### ②ボランティアコーディネーションカ2級検定試験の実施

(計画2回・2か所/実施2回・2か所)

開催地・会場	開催日	講師・採点	受験者
<第1回> 通算26回	講義動画視聴	後藤 麻理子	19人
	9月30日(土)~	早瀬 昇	
大阪会場:		筒井 のり子	
大阪府社会福祉会館		新堀 春輔	
	直前研修 & 検定試験	筒井 のり子	
	10月15日 (日)	竹田 純子	
		新堀 春輔	
		青山 織衣	
<第2回> 通算27回	講義動画視聴	後藤 麻理子	30人
	11月4日(土)~	早瀬 昇	
東京会場:		筒井 のり子	
大学生協杉並会館		新堀 春輔	
	直前研修 & 検定試験	後藤 麻理子	
	11月19日 (日)	疋田 恵子	
		新堀 春輔	
		鹿住 貴之	

<第1・2回 2級検定 試験結果>

	大阪東京		合計
受験者数	19人	30 人	49 人
合格者数	17人	24 人	41 人
合格率	89.5%	80.0%	83.7%

# ③3級検定試験(主催)の実施 (計画2回/実施2回)

#### 第1回(通算35回):

開催地・会場	開催日	直前研修講師	受験者	
東京会場:飯田橋セントラルプラザ	7月2日	鹿住 貴之	73 人	
<後援:東京ボランティア・市民活動センター>	(日)	後藤 麻理子		
	直前研修	※オンデマント	<u> </u>	
	検定試験	研修録画視聴者含む		
大阪会場 : 大阪府社会福祉会館		永井 美佳	37人	
<研修共催:大阪ボランティア協会>		青山 織衣		
		※オンデマンド		
		研修録画視聴者含む		
栃木会場:小山市市民活動センター(おやまーる)		オンデマンド	17人	
<協力:小山市市民活動センター>		研修録画視聴		

#### 第2回(通算37回):

開催地・会場	開催日	直前研修講師	受験者
北九州会場:ウェルとばた	11月18日	オンデマンド	26 人
	(土)	研修録画視聴	
	検定試験		

# 第3回(通算36回):

開催地・会場	開催日	直前研修講師	受験者	
東京会場:飯田橋セントラルプラザ	12月3日	矢島 万理	54 人	
<後援:東京ボランティア・市民活動センター>	(日)	鹿住 貴之		
	直前研修	※オンデマンド研	T修視聴・	
	検定試験	検定試験のみを	合む	
大阪会場:新大阪丸ビル別館		垂井 加寿恵	25 人	
<研修共催:大阪ボランティア協会>		青山 織衣		
		※オンデマンド研	T修視聴・	
		検定試験のみを含む		

岐阜会場:ハートフルスクエアーG	オンデマンド	23 人
	研修視聴	
愛媛会場:二番町ホール(久保堂二番町ビル)	オンデマンド	3人
	研修視聴	

#### <試験結果>

		第1回		第2回		第3回			合計
	東京	大阪	栃木	北九州	東京	大阪	岐阜	愛媛	шп
受験者数	73人	37人	17人	26人	54 人	25人	23人	3人	258人
合格者数	64 人	32人	12人	25人	51人	23人	23人	3人	233人
合格率	87.7%	86.5%	70.6%	96.2%	94.4%	92.0%	100%	100%	90.3%

#### 共催検定(計画6回/実施6回) ※その他(研修共催のみ)1回

共催団体	開催日	講師
①沖縄県社会福祉協議会	7月22日(土)	唐木 理恵子
②東京都社会福祉協議会 東京ボランティア・市民活動センター	8月26日(土)	三田 響子、土崎 雄祐
③東北公益文科大学	9月10日(日)	唐木 理恵子
④島根県社会福祉協議会	11月12日(日)	上田 英司
⑤龍谷大学	11月18日(土)	早瀬 昇、筒井 のり子
⑥長野県社会福祉協議会	12月15日(金)	オンデマンド研修動画視聴

#### <試験結果>

	1	2	3	4	(5)	6	合計
受験者数	16人	39 人	28人	32 人	31人	23 人	169人
合格者数	11人	36人	26 人	27 人	28人	16人	144 人
合格率	68.8%	92.3%	92.9%	84.4%	90.3%	69.6%	85.2%

#### ●その他:直前研修のみ共催

共催団体	開催日	講師	受講者
いずみ市民大学	10月 7日(土)	早瀬 昇、青山 織衣	12人
   (特定非営利活動法人 SEIN)	10月14日(土)		
	11月11日(土)		
	12月 2日(土)		

#### ④ボランティアコーディネーション力検定試験委員会の運営

・試験委員会を設置し、各級ごとにチームミーティングを開催し、試験問題を作成した。

#### <委員名簿>

No	委員名	所属	担当
◎ 1	妻鹿 ふみ子	東海大学	総括
☆ 2	小原 宗一	北区社会福祉協議会(東京)	1級
3	疋田 恵子	杉並区社会福祉協議会	1級
4	岩井 俊宗	とちぎユースサポーターズネットワーク	1級
5	上田 英司	日本 NPO センター	1級
6	後藤 麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会	1級
7	青山 織衣	大阪ボランティア協会	2 級
8	栗木 梨衣		2 級
9	公文 真理亜	北九州市社会福祉協議会	2 級
10	垂井 加寿恵	神戸学院大学 ボランティア活動支援室	2 級
☆11	新堀 春輔	京都市環境保全活動推進協会	2 級
☆12	足立 陽子	淑徳大学地域共生センター	3 級
13	唐木 理恵子	紬ワークス	3 級
14	土崎 雄祐	とちぎ市民協働研究会	3 級
15	鹿住 貴之	JUON(樹恩)NETWORK	3 級
16	佐藤 匠	至学館大学	3 級

# 各級 (1級・2級・3級) ごとのチームミーティングの開催 <1級検定チーム>

	開催日	形態	参加人数	
第1回	9月23日 (土・祝)	オンライン	4人	

#### <2級検定チーム>

	開催日	形態	参加人数
第1回	5月1日(月)	オンライン	4人
第2回	7月 8日 (土)	オンライン	5人
第3回	8月5日(土)	オンライン	5人

### <3級検定チーム>

	開催日	形態	参加人数
第1回	5月20日(土)	JVCA 事務所	5人
採点	7月 6日 (木)	JVCA 事務所	2人
採点	7月27日(木)	JVCA 事務所	2人
採点	9月14日(木)	JVCA 事務所	2人
第2回	10月1日(日)	JVCA 事務所	5人
採点	11月16日(木)	JVCA 事務所	3人

採点	11月24日(金)	JVCA 事務所	2人
採点	12月 7日 (木)	JVCA 事務所	2人
採点	12月20日(水)	JVCA 事務所	2人

#### ⑤ボランティアコーディネーション力検定研修委員会の運営

前年度の1、2級直前研修の振り返りを行い、本年度の研修プログラムやテキストの改訂 について協議した。また、3級検定公式テキストの在庫が少なくなってきたことに伴い、増 刷に向けての準備行った。

#### <委員名簿>

No	委員名	所属
1	岩井 俊宗	とちぎユースサポーターズネットワーク
2	小原 宗一	北区社会福祉協議会(東京)
3	後藤 麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会
4	竹田 純子	龍谷大学 ボランティア・NPO活動センター
5	筒井 のり子	龍谷大学
6	早瀬 昇	大阪ボランティア協会
7	疋田 恵子	杉並区社会福祉協議会

#### ・検定研修委員会の開催実績

	開催日	形態	参加人数
第1回	4月11日(火)	オンライン	6人
第2回	8月 4日 (金)	オンライン	5人

- ⑥ボランティアコーディネーション力検定1・2・3級直前研修講師養成2級検定の演習講師として新たに1名が就任した。
- ⑦検定合格者(3級・2級)に対する上級検定情報の提供 登録アドレスにダイレクトメールで案内した。

#### (4)情報の収集及び提供活動の推進

- ①メールマガジンの発行(月1回程度)
  - →JVCA めるまが Co★Co★Net 第196号~第202号の発信
- ②JVCA 公式 Facebook の運営
  - →適宜、委員会や事業案内などの記事を発信した。
- ③JVCA の YouTube 公式チャンネルの運営
  - → (7) ⑥で報告

- ④JVCA 紹介チラシの作成、配付
  - →JVCA の団体紹介チラシを作成し、会場で開催する研修先では参加者に配付し、オンライン研修ではデータをチャットに貼り付ける形で配付した。
- ⑤WEB サイトの情報更新
  - →適宜、情報発信およびメンテナンスを行った。
- ⑥ボランティアコーディネーションに関する図書・文献情報の収集
  - →『あそびの生まれる時 「お客様」時代の地域活動コーディネーション』 西川 正 著、ころから 発行

『共に育つ"学生×大学×地域"人生に響くボランティアコーディネーション』 聖学院大学ボランティア活動支援センター編、聖学院大学出版会 発行 『モヤモヤのボランティア学 私・他者・社会の交差点に立つアクティブラーニング』 李 永淑 編、昭和堂 発行

『更生保護(令和5年6月号) 特集:魅力ある保護司会』日本更生保護協会 発行 掲載:論説「変化する組織への使命感と所属意識」(執筆:後藤麻理子) 『ボランティア活動論』杉本敏夫監修 田中康夫・小口将典、竹下徹編著 ミネルヴァ書房 発行

- ⑦ボランティアおよびボランティアコーディネーションについての普及啓発
- ・「ご存知ですか?ボランティアコーディネーター」ポスターの増刷および会員への配付 →ボランティアコーディネーターへの理解を進めるためのポスターを入会時に配付 し、活用を呼びかけた。(ホームページからもダウンロード可)

#### (5) 広報紙および出版物の発行

①ニュースレター『Co★Co★Net』の発行(計画:3回/発行:3回) 部数:500部第68号(4月8日)特集:被災者支援とコーディネーション第69号(8月20日)特集:コロナ禍における医療現場の実情と工夫第70号(12月10日)特集:こんな話を社協に相談しても仕方ないんじゃけど…

- ②ボランティアコーディネーションカ1級検定テキストの発行 『ボランティアコーディネーションカ1級検定テキスト』改訂版の発行 33 部
- ③ボランティアコーディネーションカ2級検定サブテキストの発行 『ボランティアコーディネーションカ2級検定サブテキスト』の発行 60 部

#### (6)調査・研究事業の実施

- ①「グッドプラクティス認定システム化委員会」の運営および実践事例の募集
- ・「グッドプラクティス認定システム化委員会」の設置

No	委員名	所 属
1	岩井 俊宗	とちぎユースサポーターズネットワーク
2	上田 英司	日本 NPO センター
3	小原 宗一	北区社会福祉協議会(東京)
4	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会

#### ・委員会の開催 →なし

- →事例は常時募集をしたが応募はなかった。
- ・1級検定直前研修講師の岩井俊宗さんと小原宗一さんが発起人となり「事例から深める!ボランティアコーディネーション研究会」を呼びかけた。対象は1、2級合格者。1級合格者から事例提供をいただき、事例検討会を開催する。この場を将来的にはグッドプラクティスの発掘と伴走支援につなげたい。

事例から深める!ボランティアコーディネーション研究会 開催実績

No	回	開催日	スーパーバイザー/事例発表者	参加人数
	第1回	7月 4日 (火)	岩井 俊宗・小原 宗一/中谷 隆秀	20 人
1	第2回	7月18日(火)	岩井 俊宗・小原 宗一/藤井 美香	24 人
	第3回	8月1日(火)	岩井 俊宗・小原 宗一/國實 紗登美	19人
	第1回	11月21日 (火)	岩井 俊宗・小原 宗一/加藤 悦與	19人
2	第2回	12月1日(金)	岩井 俊宗・小原 宗一/清水 昌代	17人
	第3回	12月12日 (火)	岩井 俊宗・小原 宗一/なし	17人

#### ②マスコミ向けパンフレットの作成

ボランティア報道アクションチームにより、報道関係者向けにパンフレットの作成に取り組んだ。チームの草案を理事・運営委員合宿で内容を協議した。パンフレットのデザイン及び文章を推敲する段階まで進捗した。

<ボランティア報道アクションチーム> (早瀬昇、竹脇恵美、清水由子、橋詰勝代、 高橋義博、疋田恵子、石黒建一、齋藤元気)

#### ・チームミーティング実績

	開催日	形態
第1回	5月 1日(月)	オンライン
第2回	5月10日(水)	オンライン
第3回	5月29日(月)	オンライン
第4回	6月18日(日)	オンライン
第5回	7月 7日(金)	オンライン
第6回	7月21日(金)	オンライン

第7回	8月26日(土)	オンライン
第8回	9月15日(金)	オンライン
第9回	10月8日(日)	オンライン
第10回	11月4日(土)	オンライン
第11回	11月24日(金)	オンライン
第12回	12月 4日 (月)	オンライン
第13回	12月18日 (月)	オンライン

#### ③新たな事業展開につなげる調査研究事業の企画

本年度の予算作成の段階で財政委員会を中心に助成金の獲得策を検討し、新たに取り組む事業や既存の事業の活性化につなげる調査研究について協議を進めてきた。前半は理事・ 運営委員に投げかけて有志によるミーティングを開催、テーマや内容を絞り込み、トヨタ 財団の国内助成プログラムへの応募を決めて以降はタスクチームを結成して検討した。結 論としては本年度の申請は断念し、小さく取り組みを始動させながら、次年度の助成金申 請に照準を合わせた準備を行っていく。

<助成金申請タスクチーム> (早瀬昇、筒井のり子、西川正、妻鹿ふみ子、土崎雄祐、 文珠正也、中谷隆秀、直井友樹)

・財政委員会→有志ミーティング→タスクチームミーティング実績

	開催日	形態	備考
第1回	1月 8日 (日)	オンライン	有志
第2回	1月15日(日)	オンライン	
第3回	2月15日(水)	オンライン	
第4回	4月21日(金)	オンライン	
第5回	5月 7日(日)	オンライン	タスクチーム
第6回	5月18日(木)	オンライン	
第7回	5月25日(木)	オンライン	
第8回	6月 8日 (木)	オンライン	
第9回	6月21日(水)	オンライン	
第 10 回	9月20日(水)	オンライン	
第 11 回	11月6日(月)	オンライン	
第 12 回	12月16日(土)	オンライン	

#### (7) ボランティアコーディネーターの交流の促進

①СоСоサロンの開催・運営支援

地域プロモーション委員会を中心に CoCo サロンの立ち上げおよび運営を支援。

#### ・CoCoサロンの開催状況

No	開催日	サロン名	会場	人数	テーマ
1	1月 4日 (水)	CoCo サロン 中部	オンライン	8人	エリアメイトを呼びかけ人に、地 元メンバーに全国からの参加も加 わって、情報交換を行った。
2	1月25日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	オンライン	8人	重層的支援体制整備事業の取り組みをめぐる現状や問題点を共有しながら、障害者問題への対応が弱いなどの課題を確認した。
3	3月22日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	オンライン	9人	近況報告から「職員の定着率低下と働き甲斐」「ソーシャルな分野への企業進出」等々のキーワードが出され、情報や意見の交換をした。
4	5月20日 (土)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	生き方のデザ イン研究所+ オンライン	8人	NPO スタッフの椎名保友さんをゲストに、「支援」って?「福祉」って? 生きると活きるを深掘りし、支援するされるを考えた。
5	7月26日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	生き方のデザ イン研究所+ オンライン	4人	福祉施設やボランティアをキーワードにざっくばらんな情報交換、対話による学びの場を開催した。
6	8月29日(火)	CoCo サロン 長野	ダイニング晴 〜はれる〜	8人	研修講師で赴いた筒井のり子さんをゲストに、久しぶりに対面で集い、夕食をとりながら情報交換と交流を行った。
7	9月10日 (日)	CoCo サロン 庄内	楽家(らくや)	6人	共催検定講師で赴いた唐木理恵子 さんをゲストに、コロナ禍で休んで いたサロンを再開し、食事を楽しみ ながら情報交換をした。
8	9月27日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	生き方のデザ イン研究所+ オンライン	5人	福祉施設やボランティアをキーワードにざっくばらんな情報交換、対話による学びの場を開催した。
9	11月29日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	生き方のデザ イン研究所+ オンライン	6人	福祉施設やボランティアをキーワードにざっくばらんな情報交換、対話による学びの場を開催した。
10	12月13日 (水)	CoCo サロン 東北	オンライン	8人	運営委員でNPO法人ぼらんたす(山形)の栗原穂子さんから居場所「楽家」の取り組みの話題提供をいただき、その後交流を行った。

②エリアアクションの開催~身近な地域での会員のつながりづくり

6月に会員メーリングリストを使って「エリアメイト」を募集した。新規の方にはオンラインによるオリエンテーションを行い、活動の趣旨や内容を紹介した。

#### ③国内外の関係団体との連携

国内外の関係団体とボランティアコーディネーションの普及促進に関連する事業に後援ならびに協力し、連携を深めた。

#### <委嘱・協力>

- 「広がれボランティアの輪」連絡会議への参加 (幹事会/ボランティア全国フォーラムの企画)
- ・東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)への参加
- 東京都中央区地域振興課:中央区協働推進会議 委員
- ・ 全国社会福祉協議会: 全国ボランティア・市民活動振興センター運営委員会
- ・災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(支援 P) 委員
- ・シャプラニール=市民による海外協力の会:理事(6月まで)/評議員(6月から)
- ・東京ボランティア·市民活動センター:中間支援組織スタッフの支援カアップ塾企画・ 評価委員

#### く後援>

- ·第 58 回公益財団法人日本精神保健福祉士協会全国大会·第 22 回日本精神保健福祉士学会学術集会(事務局:日本精神保健福祉士協会)
- ・「ファンドレイジング・日本(FRJ)2024(日本ファンドレイジング協会)
- ④会員メーリングリストによる会員相互の相談・助言の促進会員メーリングリストを通して会員間のコミュニケーション 利用件数 103 件
- ⑤会員限定 Facebook グループ「集まれ!ボランティアコーディネーター」の活用 WEB 委員会により、コーディネーター同士の気軽で自由な情報交換の場としてコーディ ネーションに関連する企画や研修情報を発信したり、各自の投稿を促した。
- ⑥動画「旅する JVCA」を作成し、YouTube の JVCA 公式チャンネルで発信 3本の動画を作成し、「旅する JVCA」として配信した。
  - 第6回 西川 正さん × 聞き手 小柏 博英さん・橋詰 勝代さん
  - 第7回 遠山 昌子さん × 聞き手 椎名 保友さん
  - 第8回 川瀬 和一さん × 聞き手 三田 響子さん・倉本 泰孝さん
- ⑦オンラインを活用した会員の交流サロン・勉強会の開催

WEB 委員会が企画・運営する会員向けのオンラインサロンを開催した。テーマは「オンライン・ツール」。ボランティア活動やコーディネーションの現場で広報やコミュニケーションのために「使っている・使えるツール」を題材にざっくばらんに意見交換、情報交換等を行った。

No	開催日	形態	参加人数
1	9月25日(月)	オンライン	5人

# 2 組織運営と財政

#### (1)通常総会

開催日時 3月4日(土) 19時00分~20時38分

場 所 オンライン会議(Zoom を利用)

出席者数 217人(議場出席50人、書面表決52人、委任状提出115人)

審議事項 第1号議案 2022 年度事業報告ならびに決算案について

第2号議案 2023年度事業計画ならびに予算案について

総会は成立し、すべての議案が承認された。

#### (2) 監事監査の実施

2022 年度の事業執行についての監事監査を実施した。

日 時 1月28日(土)

場 所 JVCA 事務所

出 席 池田幸也監事、内野恵美監事

#### (3)理事会

・理事会の開催 計画:4回 (1月、4月、7月、12月)/実施4回

	開催日	会場	出席	審議事項
第 82 回	2月5日 (日)	オンライン	14人	第1号議案 2022年度事業報告および決算案について/第2号議案 事務局職員給与の改善〜賃金規程別表の改定について/第3号議案 2023年度事業計画(一部修正)および予算案について/第4号議案 運営委員会規程および処務規程の改定について/第5号議案 2023年度運営委員選考委員の選任について
第83回	4月9日 (日)	オンライン	15人	審議事項なし
第84回	7月16日 (日)	オンライン	14人	第1号議案 2023年度上半期事業 執行状況について/第2号議案 第5 期中期ビジョン策定方針およびタスク チームの設置について/第3号議案 就業規則の一部改訂について
第 85 回	12月24日 (日)	オンライン	14人	第1号議案 2024年度事業計画および暫定予算案について/第2号議案 『報道関係者向けパンフレット』の作成について/第3号議案 2024年

		度検定語	試験委員の選任について/第4
		号議案	電子取引データの訂正及び削
		除の防止	上に関する事務処理規程の設置
		について	

#### (4) 理事・運営委員合同合宿 (ハイブリッド形式)

JVCA の今後や重点事業の進め方などを協議するために、理事と運営委員がハイブリッド方式で協議する 1 泊 2 日の合宿を行った。

7月29·30 (土・日) @おごと温泉木もれび(滋賀県) & Zoom

#### (5)委員会

①運営委員会(計画:月1回 全12回/実施:12回) ※1回は合宿を兼ねる 4月に新体制となり、オンラインと集合形式を組み合わせて実施した。

2023年度運営委員体制(2023.4~2024.3)

◎委員長 ○副委員長

NO	氏 名	地域	所 属
1	石黒 建一	北海道	社会福祉士事務所うらら和
2	小野寺 崇	宮城県	仙台市社会福祉協議会
3	栗原 穂子	山形県	特定非営利活動法人ぼらんたす
4	橋本 尚美	福島県	特定非営利活動法人福島県防災士会
○5	土崎 雄祐	栃木県	一般社団法人とちぎ市民協働研究会
6	宮城 智広	埼玉県	鶴ヶ島市社会福祉協議会
7	相澤 満	東京都	食物アレルギーの子を持つ親の会
8	榎本 朝美	東京都	東京ボランティア・市民活動センター
9	鹿住 貴之	東京都	認定特定非営利活動法人 JUON(樹恩) NETWORK
10	唐木 理恵子	東京都	紬ワークス
11	熊谷 紀良	東京都	東京ボランティア・市民活動センター
12	後藤 麻理子	東京都	認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会
13	齋藤 元気	東京都	立教大学ボランティアセンター
14	高橋 義博	東京都	府中市市民活動センタープラッツ
15	疋田 恵子	東京都	杉並区社会福祉協議会
16	武藤 祐子	東京都	千代田区社会福祉協議会
17	直井 友樹	神奈川県	横浜国立大学大学院
18	牧野 大樹	神奈川県	横浜市港北区社会福祉協議会
19	三田 響子	神奈川県	相模原市社会福祉協議会
20	小柏 博英	福井県	福井市社会福祉協議会
21	中谷 隆秀	長野県	長野県生活協同組合連合会
22	竹脇 恵美	長野県	ふるさと体験木曽おもちゃ美術館
23	戸田 千登美	長野県	長野県長寿社会開発センター
<b>O24</b>	佐藤 匠	愛知県	至学館大学
25	清水 由子	岐阜県	公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団

⊚26	國實 紗登美	滋賀県	龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター
27	筒井 のり子	滋賀県	龍谷大学
28	橋詰 勝代	滋賀県	高島市社会福祉協議会
29	山﨑 智文	京都府	京都産業大学ボランティアセンター
30	田口 雄一	大阪府	認定 NPO 法人ぱれっと
31	早瀬 昇	大阪府	大阪ボランティア協会
32	文珠 正也	大阪府	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
33	岡 秀和	兵庫県	関西学院大学 ボランティア活動支援センターヒューマン・サービス支援室
34	杉浦 健	兵庫県	共働プラットホーム
35	橋口 文博	兵庫県	特定非営利活動法人じゅうしん神戸
36	大藤 毅	愛媛県	国立大洲青少年交流の家
37	小谷 広幸	福岡県	NPO 法人とねりこ

#### ・運営委員選考委員会

正会員に公募した 2023 年度の運営委員募集について応募者からの選考を行い、代表理事に推薦した。

日時 2023年3月14日(火)

場 所 オンライン

出 席 遠山昌子理事、佐藤匠運営委員長、後藤麻理子事務局長

#### ・運営委員会(月1回)の開催実績

	開催日	会場	人数
第1回	1月22日(日)	オンライン	22人
第2回	2月26日(日)	オンライン	22 人
第3回	3月25日(土)	オンライン	25 人
第4回	4月22日(土)	オンライン+龍谷大学大阪梅田キャンパス +飯田橋セントラルプラザ	30人
第5回	5月13日(土)	オンライン+龍谷大学大阪梅田キャンパス +飯田橋セントラルプラザ	26 人
第6回	6月25日(日)	オンライン+飯田橋セントラルプラザ	25 人
第7回	7月29・30日	@おごと温泉木もれび+オンライン	34 人
	(土・日)	※理事と運営委員の合同合宿	
第8回	8月20日(日)	オンライン	28人
第9回	9月24日(日)	オンライン	24 人
第10回	10月22日(日)	【メイン会場】龍谷大学大阪梅田キャンパス	21人
		+オンライン	
第11回	11月23日(木・祝)	オンライン	23 人
第 12 回	12月2日(土)	【メイン会場】東京ボランティア・市民活動	24 人
		センター+オンライン	

#### ②各種委員会の運営

各種事業の進行管理を徹底し、事業推進と組織運営への会員参加を進めるため、理事、 運営委員、一般会員の参加で以下の委員会を推進した。

#### i ) 研修開発委員会

本年度の実務者研修のテーマ決めとそれぞれのプログラム作成と運営を行った。

回	開催日	会場
第1回	5月13日(土)	オンライン
第2回	6月 8日 (木)	オンライン
第3回	11月16日 (木)	オンライン

#### ii ) 研究集会企画委員会 (拡大)

今後の JVCC のあり方についての話し合いを行った。また、JVCC2024 に向けて実行委員会の人選および呼びかけを経て、委員会を始動させた。

	開催日	会場
第1回	1月 8日 (日)	オンライン
第2回	2月14日(火)	オンライン
第3回	3月13日(月)	オンライン

#### iii) 財政委員会

2023 年度本予算と 2024 年度暫定予算案の作成と財源確保について協議し、調査研究事業での助成金申請の対策を協議した。助成金申請に関してはタスクチーム結成までを牽引した。

	開催日	会場
第1回	5月 9日 (火)	オンライン
第2回	10月18日 (水)	オンライン
第3回	11月13日 (月)	オンライン
第4回	11月30日(木)	オンライン

#### iv) WEB 委員会

JVCA 公式 Facebook の運営、Facebook グループへの発信・管理。あらためて WEB 委員会のタスクについても確認した。

	開催日	会場
第1回	2月24日(金)	オンライン
第2回	4月17日(月)	オンライン

第3回	6月14日 (水)	オンライン
第4回	7月12日(土)	オンライン
第5回	8月8日 (火)	オンライン
第6回	9月19日 (火)	オンライン
第7回	12月22日(金)	オンライン

#### v)地域プロモーション委員会

CoCo サロン開催の呼びかけ、旅する JVCA の収録・編集・公開など、役割を分担して 進捗状況を確認しながら進めた。エリアメイトについてはあらためて募集をかけた。

	開催日	会場
第1回	1月22日(日)	オンライン
第2回	2月26日(日)	オンライン
第3回	3月22日(水)	オンライン
第4回	4月22日(土)	オンライン
第5回	5月 7日 (日)	オンライン
第6回	5月13日(土)	オンライン
第7回	6月25日(日)	オンライン
第8回	8月20日(日)	オンライン
第9回	9月24日(日)	オンライン
第 10 回	10月22日(日)	オンライン
第 11 回	11月23日 (木・祝)	オンライン

#### ③専門委員会の設置、運営

- i )ボランティアコーディネーション力検定試験委員会 →**事業の推進(3)**で
- ii)ボランティアコーディネーション力検定研修委員会 →**事業の推進(3)**で
- iii) グッドプラクティス認定システム化委員会 →**事業の推進(6)**で

#### ④プロジェクトチームの運営

各種委員会の他に、必要に応じて各種チームを構成し、事業の進行を図る。

i)検定プロモーションプロジェクトチーム(継続)

#### ・チームミーティング実績

	開催日	形態
第1回	4月22日(土)	オンライン
第2回	6月25日(日)	オンライン
第3回	8月20日(日)	オンライン

第4回	10月22日(日)	オンライン
第5回	12月 2日(土)	オンライン

#### ii) これからの組織運営を検討するタスクチーム

…第4期中期ビジョンの振り返りをふまえ、JVCAの将来像をふまえた、これからの組織・運営体制(財政、理事・運営委員の活動内容、事務局のあり方等)を提案した。代表理事への報告をまとめ、4月の理事会で報告しチームは解散した。

#### ・チームミーティング実績

	開催日	形態
第1回	1月19日(木)	オンライン
第2回	2月20日(月)	オンライン

#### iii) 第5期中期ビジョン策定タスクチーム

…上記 ii ) のタスクを引き継ぐチームの設置について 7月理事会において承認。 9月から協議を開始した。

#### くチームメンバー>

No	氏 名	所属	JVCA での主な役割
1	榎本 朝美	東京ボランティア・市民活動センター	運営委員
2	鹿住 貴之	JUON(樹恩) NETWORK	副代表理事/運営委員
3	國實 紗登美	龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター	運営委員長
4	佐藤 匠	至学館大学	理事/副運営委員長
5	土崎 雄祐	とちぎ市民協働研究会	副運営委員長

#### ・チームミーティング実績

	開催日	形態
第1回	9月22日(金)	オンライン
第2回	10月18日 (水)	オンライン
第3回	10月24日 (火)	オンライン
第4回	11月15日 (水)	オンライン
第5回	11月28日 (火)	オンライン
第6回	12月8日(金)	オンライン

#### (6) 理事と運営委員のコミュニケーションの強化

- ①理事・運営委員プロフィール集の更新 →4月のランチミーティングに向けて更新
- ②理事会・運営委員会相互へのオブザーバー参加の促進
  - 4月理事会の終了後に新体制になった運営委員とのランチミーティングを企画し、当日

は交流を重視したプログラムを実施した。

く理事と運営委員のコミュニケーションを深めるタスクチーム>

(永井美佳、青山織衣、佐藤匠、遠山昌子、熊谷紀良、疋田恵子、岡秀和)

・チームミーティング実績

	開催日	形態		
第1回	3月15日(水)	オンライン		

#### (7) 会員拡大および会員サービスの充実

- ① 「顧客・支援者データベース」の活用各種事業についての案内を該当する顧客を検索し、 適宜 E メールにより周知した。
- ②会員拡大に関する取り組み
  - ・ボランティアコーディネーション力検定合格者に対し、入会の案内を行った。
  - ・入会のインセンティブとしての割引等を、研究集会や検定、研修申込の際に案内した。

2023 年度末の会員数

種別	数	計
正会員	322	
準会員	7	421
賛助会員(個人)	85	
賛助会員(団体)	7	

#### ③会費納入率の向上への取り組み

2月に新年度の会員継続と会費納入を依頼するダイレクトEメールを送り、4月の広報紙発送の際には未納者への納入依頼文書を同封した。以降、8月と12月の広報紙発送にも依頼文書を同封。11月~12月には運営委員がEメールやメッセンジャーなどで各自の顔見知りの会員に対し、直接会員継続と会費納入をお願いした。

#### (8) 事務局運営の充実

- ①事務局常勤スタッフの採用
  - 4月1日付で常勤職員を採用した。
- ②事務局担当理事の設置とスーパービジョンの実施

遠山事務局担当理事および鹿住副代表理事による職員へのスーパービジョンを実施した。 新任職員には試用期間があける際に、全職員には年度末に個別面談を行い、業務上の課 題や今後の希望などを聞き取り、適宜アドバイスも行った。

③ボランティアコーディネーションに関わる拠点機能の強化 ボランティアコーディネーターに役立つ書籍を収集した(献本を含む)。

#### (9) 財源の確保

①会費収入の拡大

会費納入率が例年よりも低い実情を運営委員会で共有し、関係者への早めの納入をお願いした。

②事業収益の拡大

案内チラシの送付、関係団体のメルマガへの発信、メールやメッセンジャーによる個別の PR など、研修や検定の周知、講師派遣先の開拓を行った。

③寄付者の拡大

12月に会員に対し年度末の寄付の依頼を行った。

④助成金、委託事業などの活用

今後の事業展開に活用できる研究や活動に対する助成金等の情報を収集し、タスクチームを結成して事業内容を検討した(次年度申請をめざす)。

⑤「おサイフ通信」の発行

財政委員会から会員メーリングリストにJVCAおサイフ通信を発信し、JVCA の厳 しい財政状況を伝え、会員の継続と会費納入、寄付のお願いをした。

- ·第16号(6月8日刊)
- ·第17号(12月14日刊)

#### ◆寄附者名簿◆

ボランティアコーディネーションの普及をするための事業に充当する「コーディネーターみらい募金」、2級検定合格をめざす 30 歳以下の若いコーディネーターを応援する「U-30 応援プログラム」の財源としてご寄附いただいたみなさんです。ありがとうございました。



#### ※敬称は略します

足立 陽子	小谷 広幸	大藤 毅	橋詰 勝代
穴見 千佳	後藤 麻理子	高橋 義博	林 果奈
阿部 今日子	小山 晴義	髙橋 あゆみ	早瀬 智啓
江森 謙太郎	酒井 玲子	瀧澤 宏直	早瀬 昇
鹿住 貴之	佐藤 茂雄	竹脇 恵美	松本 まり子
唐木 理恵子	佐藤 匠	都賀 潔子	宮崎 純子
川田 虎男	澤田 奈男	筒井 のり子	妻鹿 ふみ子
國實 紗登美	澤田 麻理	寺田 美和子	
熊澤 桂子	清水 由子	長野 大輔	ほか1名

#### ■2023年度 講師派遣事業

		M						
	期日	曜日	対面	オラ	オデ	研修名	主催団体	派遣講師
	2022年12月9日/ 2023年1月19日・ 2月17日・22日	金·木· 金·水		•		中間支援スタッフのための支援カアップ塾	東京都社会福祉協議会	唐木 理恵子
2	1月11日・20日	水·金		•		住民支え合いコーディネータースキルアップ講座	群馬県社会福祉協議会	筒井 のり子
3	1月26日	木	•			ボランティアコーディネーター・担当職員セミナー	鹿児島県社会福祉協議会	唐木 理恵子
4	1月26日	木		•		ボランティア強化セミナー	北海道社会福祉協議会	筒井 のり子
5	2月8日	水	•			ボランティアコーディネーター研修	川崎市社会福祉協議会	唐木 理恵子
6	2月16日	木	•			地域日本語教室運営者コーディネーター研修会	横浜市国際交流協会	妻鹿 ふみ子
7	2月19日	日	•			静岡県ボランティア研究集会	静岡県ボランティア協会	後藤 麻理子
8	2月22日	水	•			ボランティアコーディネーション研修会	島根県社会福祉協議会	上田 英司
9	2月25日	±	•			支え合いミーティング	神戸市中央区社会福祉協議会	青山 織衣
10	2月26日	B	•			ボランティア情報交換会&研修会	横浜市国際交流協会	疋田 恵子
11	2月27日	月	•			ボランティア交流大会	山口県社会福祉協議会	小原 宗一
12	3月1日	水	•	•		中間支援スタッフのための支援力アップ塾企画・評価 委員会	東京都社会福祉協議会	唐木 理恵子
13	3月10日	金	•			地域デビュー応援講座	奈良県社会福祉協議会	早瀬 昇
14	3月12日	B	•			ボランティア情報交換会	燕市社会福祉協議会(新潟県)	後藤 麻理子
15	3月13日	月	•			福祉施設職員のためのボランティアコーディネート講座	市川市社会福祉協議会(千葉県)	後藤 麻理子
16	3月14日	火	•			(企業)スキル活用社会貢献セミナー	富山県社会福祉協議会	鹿住 貴之
17	3月20日	月	•			ボランティアコーディネーター・相談員研修	神奈川県社会福祉協議会	妻鹿 ふみ子
18	3月21日	火	•			ボランティア研修会	江津市社会福祉協議会(島根県)	青山 織衣
19	3月26日	B	•			ボランティア入門講座	熊野市社会福祉協議会(三重県)	佐藤 匠
20	4月13日	木		•	•	ボランティア入門 実践編	田辺三菱製薬労働組合 東京支社支部	青山 織衣
21	5月11日・12日	木·金		•		福祉職員キャリアパス対応研修(チームリーダー編)	東京都福祉人材センター研修室	後藤 麻理子
22	5月19日	金	•			区市町村ボランティア・市民活動センター新任研修	東京都社会福祉協議会	唐木 理恵子
23	5月23日・6月21日	火·水		•		ボランティアコーディネーション概論	日本生活協同組合連合会	鹿住 貴之 後藤 麻理子
24	5月31日・6月1日	水·木		•		福祉職員キャリアパス対応研修(チームリーダー編)	東京都福祉人材センター研修室	後藤 麻理子
25	6月1日	木		•		ボランティアコーディネーター・生活支援コーディネーター 合同学習会	香美町社会福祉協議会	青山 織衣
26	6月2日	金	•			ボランティアコーディネーター研修	富山県社会福祉協議会	唐木 理恵子
27	6月3日	±		•		生涯学習·市民活動人材育成講座	NPO法人こまき市民活動ネットワーク	後藤 麻理子
28	7月5日・6日	水·木		•		福祉職員キャリアパス対応生涯研修(初任者研修・新卒)	東京都福祉人材センター研修室	後藤 麻理子
29	7月19日	水	•			ブロック委員向けカレッジ (ボランティアコーディネーター概論)	生活協同組合コープみらい千葉県本部	後藤 麻理子
30	7月19日	水		•		ボランティアコーディネーター研修(基礎編)	千葉県社会福祉協議会	唐木 理恵子
31	7月20日	木·金		•		ボランティアコーディネーター資質向上研修会	福井県社会福祉協議会	後藤 麻理子
32	7月26日	水	•			市民活動団体・ボランティアグループ向け講座	NPO法人宮崎文化本舗	小原 宗一
33	7月26日・27日	水·木		•		福祉職員キャリアパス対応生涯研修(初任者研修・既卒)	東京都福祉人材センター研修室	後藤 麻理子
34	7月28日	金	•			ボランティア講座(施設職員向け)	掛川市社会福祉協議会	後藤 麻理子
			•	•	•	•	•	•

	期日	曜日	対面	オラ	オデ	研修名	主催団体	派遣講師
35	8月5日	土	•			ボランティア相談員向け研修	中野区社会福祉協議会	疋田 恵子
36	8月22日・23日	火・水		•		福祉職員キャリアパス対応生涯研修(中堅職員研修)	東京都福祉人材センター研修室	後藤 麻理子
37	8月23日	水	•			日本語ブラッシュアップ講座 (日本語ボランティア活動について)	横浜市国際交流協会	疋田 恵子
38	8月30日	水	•			参加の力で創るボランティア・地域活動実践講座	長野市社会福祉協議会	筒井 のり子
39	8月30日	水		•		会員向け基礎研修	日本生活協同組合連合会	後藤 麻理子 鹿住 貴之
40	9月6日	水	•			ボランティアコーディネーション概論	日本生活協同組合連合会九州地連	早瀬 昇
41	9月11日	月	•			ボランティアコーディネート研修会	静岡県ボランティア協会	後藤 麻理子
42	9月12日	火	•			ボランティアコーディネーター研修(基礎コース)	神奈川県社会福祉協議会	妻鹿 ふみ子
	9月14日・15日	木·金		•		福祉職員キャリアパス対応生涯研修(中堅職員研修)	東京都福祉人材センター研修室	後藤 麻理子
44	9月20日・27日・ 10月4日	水	•			ボランティア論	学習院大学	後藤 麻理子
45	9月21日・10月26日 11月23日・12月21日	木	•	•		ボランティア相談員養成事業	長久手市社会福祉協議会	唐木 理恵子
46	9月28日	木	•	•		NPOボランティア・マネジメント講座 (NPOにとってのボランティア)	ふじのくにNPO活動支援センター	早瀬 昇
47	10月1日	Ħ	•			2023秋 3キャンパス合同研修 (窓口コーディネートについて)	立命館大学サービスラーニングセンター	岡 秀和
48	10月6日	金	•			推進評価委員会	東京ボランティア・市民活動センター	唐木 理恵子
49	10月11日	水		•		職員人材育成プログラム(内部研修)	シャプラニール=市民による海外協力の会	早瀬 昇
50	10月12日	木	•	•		NPOボランティア・マネジメント講座 (ボランティア受入について)	ふじのくにNPO活動支援センター	後藤 麻理子
51	10月20日	金	•			ボランティア分科会・市民活動分科会	横浜市戸塚区社会福祉協議会	後藤 麻理子
52	10月20日	金	•			2023年度地域日本語教育コーディネーターフォローアップ研修	一般社団法人多文化社会専門職機構	早瀬 昇
53	10月25日	水		•		社会福祉施設ボランティア担当者研修(基礎編)	福島県社会福祉協議会	後藤 麻理子
54	10月31日	火	•			2023年度支援力アップ塾 相談講座	東京ボランティア・市民活動センター	唐木 理恵子
55	11月9日	木		•		ボランティア入門	田辺三菱製薬労働組合 東京支社支部	青山 織衣
56	11月18日	±	•			高齢者困りごと支援事業 登録サポーター研修会	中野区社会福祉協議会	妻鹿 ふみ子
57	11月23日	木	•			長浜市社会福祉大会記念講演 (地縁組織・地域活動の活性化について)	長浜市社会福祉協議会	西川 正
58	11月23日	木	•			ボランティア全国フォーラム2023	「広がれボランティアの輪」連絡会議	後藤 麻理子
59	12月2日	±	•			アートボランティア養成講座	川崎市文化財団	小原 宗一
60	12月5日	火	•			社会福祉施設等ボランティアコーディネーター研修会	千葉市社会福祉協議会	後藤 麻理子
61	12月8日	金		•		東京都防災(語学)ボランティア研修	東京都 生活文化スポーツ局都民生活部	菊池 哲佳
62	12月14日	木		•		会員向け基礎研修	日本生活協同組合連合会	後藤 麻理子 鹿住 貴之
63	12月14日	木	•			中間支援組織スタッフのための支援カアップ塾(ゼミ編)	東京ボランティア・市民活動センター	唐木 理恵子
64	12月19日	火	•			令和5年度ボランティアコーディネーター現任研修	埼玉県社会福祉協議会	唐木 理恵子
65	12月20日	水	•			名古屋市障害者スポーツセンター職員研修	名古屋市障害者スポーツセンター	後藤 麻理子